

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	コベルプラス草津教室
------	------------

公表日 2026年1月15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0		集団レッスンで4人以上になった際に、マジックミラーから保護者が中の様子を見学しづらい現状がある。モニターの導入を検討していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3	集団よりも個別のレッスンが必要な利用児童に対しては、1対1でレッスンを行うようにしている。	人員の追加を急ぐ必要がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	入り口の靴箱にシートを貼って靴を置く場所を視覚的に分かりやすいようにしている。	入り口の階段が急で、危ないので、公文横の少し傾斜の緩やかな階段の使用を検討する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎朝の掃除、消毒、換気を徹底している。子どもの特性に合わせて、机や棚の位置を変化させている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	コミユトレの際に、お友達との集団になかなか入っていけない子どもに対して、空き部屋でクールダウンする事を認めている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	カンファレンスを定期的に行い、利用児童の情報共有や目標設定、振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者向け評価を1年に1度行い、その結果を会議で共有。改善案を全員で考えて業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	職員と月に1回1ON1を行い、意見交換する機会を設けている。また、必要に応じて個別に面談を行って、思いを聞いて、業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	/	/	第三者評価は実施していないが、内部監査を行い、違う部門の担当者から評価を受け、評価結果を業務改善に繋げている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	定期的に本部主催の研修を行っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	支援プログラムをホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	個別支援計画作成前にアセスメントを行い、保護者のニーズや子どものできる事や課題を分析して個別支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	個別支援計画の原案が出来たタイミングでカンファレンスを行い、共通理解をしたうえで本案を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	カンファレンスにて共有している。利用児童のニーズに合わせてプラスで課題を作成して、計画に沿った支援を保護者に行えるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	標準化されたツールを契約前のアセスメント時に使用。日々の行動観察はレッスン記録としてHUGに記録、いつでも確認できるようにしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	しっかりと全ての要素を含んだ個別支援計画を作成している。	

の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	主にコミュトレについては、チームで製作物や季節の遊びを考えている。	個別レッスンについては、その日担当の指導員が利用児童の課題に合わせてプラスで取り組む課題を考えている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	プログラムが固定化しないように、教材を別教室と毎月ローテーションし、大きく変更している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	保護者のニーズがあった際には、他児との関わりも個別支援計画に含んでいる。	集団レッスンのニーズが少なく、コミュトレ以外ではなかなか実践できていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	簡単に朝礼を行い、その日の動きを確認している。	必要に応じて行っているため、毎日ではできていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	2	支援終了後に気になった事があれば、職員同士で声を掛け合い、振り返りや共有を行っている。	必要に応じて行っているため、毎日ではできていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日々の支援はHUGに記録することを徹底しており、レッスンに入る際には必ず直前のレッスンでの様子を確認するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	半年に一回モニタリングを行い、適切な見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	会議には児童発達支援管理責任者とよく理解した指導員が参加するようにしている。	会議前に教室内でカンファレンスの時間がなかなか取れていない。会議後のカンファレンスはできている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	保護者のニーズに合わせて園での様子を見学、担任の先生と情報を共有し、いつでも連携できる体制を整えている。また、市や地域の相談支援事業所とも情報共有を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	園見学に行った際に、その利用児童の課題を共有して、就学に向けて出来ることを増やしていく支援を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	4		小学校や養護学校との連携はできていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0	地域の児童発達支援センターからレッスンの見学に来られた際に、助言いただくようにしている。	スーパーバイズしてもらった時間は取れていない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		利用児童以外の子どもと関わるイベント等の開催ができていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	レッスン中やフィードバックの時間に利用児童の状況の共有、悩み事の相談を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	レッスン中に子育ての事や、子どもへの対応方法を聞かれた際に丁寧に答えしている。	ペアレントトレーニングの時間を別枠では取る事が出来ていない。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約の際に、各項目を丁寧に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	アセスメントシートを利用して家族の意向を確認している。	就学前の子ども対象なので、子どもの意向は確認できていない。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	児童発達支援計画を作成した際は必ず説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	レッスン時やフィードバックの際に子育てやお悩みの相談に応じており、助言や支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		保護者会の開催ができていないので、保護者同士の意見交流の場を設けることができていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	相談があった際には迅速かつ適切な対応を心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	LINEやHUGを利用して保護者に情報を発信している。	紙ベースのお便りは発行できていない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報が入っているファイル、パソコンについては鍵付きの書庫を施錠して保管している。	
非常時等の対応	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	必要に応じてマカトン法やペクスを利用して意思の疎通を図っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		地域住民を誘った行事は行えていない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	職員に対しては、マニュアルの読み合わせや避難訓練を実施している。	保護者や利用児童に対しては、大まかに緊急時の動きをお伝えしているが、避難訓練やマニュアルの周知はできていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	BCPを作成して訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	事前にフェイスシートにて子どもの状況を必ず確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	4	当事業所で飲食は提供していない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画に基づいた訓練や研修を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	契約の際に周知している。	契約後に再び周知する機会が取れていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハットがあった際には事業所内で報告書を作成して、再発防止について検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	契約の際に同意書をもらっており、児童発達支援計画にも記載している。	